

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175000660		
法人名	特定非営利活動法人 すばる		
事業所名	グループホーム 夢		
所在地	北見市留辺薬町旭1区243番地8号		
自己評価作成日	令和2年10月13日	評価結果市町村受理日	令和2年12月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

国道39号線沿い、市街地の西側に位置しています。近隣にレストラン・コンビニがあり外食や買い物などに活用しています。移転から5年が経過し地域環境にも慣れ少しずつ溶け込んでいる所です。年間行事としては春には桜を見ながらの焼肉や外出、夏はスイカ割、冬にはクリスマス会など四季折々に行っています。特に秋の味覚祭では太鼓の演奏・地元高校生のイベントなど毎年多彩なゲストの方に来て頂き楽しんでいます。地元の高校の実習の受け入れなどこれからの介護人材の育成のお手伝いをさせて頂いています。職員は利用者の残存能力を生かし毎日楽しくお互い支えあいながら協力して穏やかな生活を目指しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0175000660-00&Se
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	令和2年11月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

北見市留辺薬地区の国道沿いに1ユニットで開設していますグループホーム夢は現在地に移転して5年経過し、地域交流に力を入れるとともに、地域の高等学校の授業を担当したり、就職先の事業所として協力したり、味覚祭や餅つき等開催して共に楽しみ、人材育成や地位貢献に取り組んでいます。また、グループホームの周辺の環境整備を行い利用者とともに常日頃から、散歩、日光浴、外気浴に利用し、地域の方々と挨拶や会話を楽しんでいます。玄関には、毛筆での理念を掲示しており外部の方や面会家族、職員の意識の啓蒙になっています。「長い人生の主役です 自分らしく ゆっくり のんびりと」の理念を実践出来る様寄り添い、思いやる気持ちで支援しています。利用者の事を知る為に、家族から話を伺うと同時に、以前のケアマネージャーからも情報を得て、的確な介護計画でサービス提供が出来る様、職員全員が情報を共有し適切な介護に取り組めるよう努めています。管理者は職員の知識、技術向上に向け外部研修や資格取得を奨励し育成に力を入れています。管理者、ホーム長、ケアマネ、職員が一体となり楽しく、支え合い、穏やかな生活が出来るグループホームと成っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内に理念を掲示し、管理者、職員は共に共有し、実践しようとしている。	玄関、廊下に掲示している他パンフレットにも記載しています。特に玄関の掲示は毛筆でしたためられており、管理者、職員は実践出来る様に取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し地域のお祭りなどに景品を提供している。高校福祉科の実習などを受け入れている。	町内会に加入しており、地域との繋がりを大切にしています。新型コロナウイルスの影響で現在は中止していますが地元高校生の実習受け入れや餅つき、収穫祭等、行事に取り組んでおり日常的に交流しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民の相談などに対応、地元高校生の実習受け入れなどが出来る様、体制作りに取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い利用者の状況等の報告をし、今後のサービス向上の為、話し合い・意見を伺っている。	現在は書面で運営推進会議を開催しており、現在の状況や活動報告、研修報告、事故報告やヒヤリハット報告を行い意見を得て運営に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会に自治区担当者が参加、事業所の実態報告、市担当者とは介護保険課、保護かに相談を行い協力関係を築いている。	運営推進会議に市担当者や包括支援センター職員の参加を得ています。事故報告は管理者が訪問説明し、指導、助言を得ています。毎月、空室状況を報告しており、包括や行政から入居の相談を受け協力関係を築いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針の作成、委員会を構成し2か月ごとに委員会を開催し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。尚、玄関は防犯上の理由により施錠している	身体拘束廃止に向けては指針を作成し、委員会を職員会議の中で開催して利用者の状況を話し合いながら適切な介護に成るよう取り組んでいます。また、研修は担当者が決められており、禁止事項や行為、不適切な言葉遣いについて説明して正しく理解できる様行っています。運営推進会議にて報告し意見を得ています。	会議、研修に取り組んでいますが、実施記録が職員会議録の中に簡易に記載されており、身体拘束委員会会議録としての詳細な記録等の整備を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について研修会を行い、生活記録、引継ぎにより利用者の状態を把握し虐待の防止に務めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修を行っている 現在制度を活用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約又は改定の際は、利用者や家族の疑問を伺い、説明を行い理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の要望はその都度反映出来る様勤め、ケアプラン作成時家族から意見、要望を聞き運営に反映する様務めている。	利用者の要望は日常の会話の中で把握し反映できる様努めています。家族とは今は電話連絡が主であり、その他毎月の通信や担当者からの個人通信で様子を知らせています。苦情や要望が寄せられた時には丁寧に話を伺い説明して理解を得る様取り組んでいます。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、毎月の全体会議で、職員の運営に関する意見や要望があれば出来る範囲で反映するようにしている。	毎月職員会議を開催しています。会議の進行や議事録作成は予め決められており、スムーズに行われ意見や提案が成されています。利用者のケアや身体拘束についても話し合わせ全員の理解を得ています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職員個々の実績を把握して、給与水準、労働時間、手当など考え職場環境整備を目指している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は一人一人の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保、介護力の向上を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流はあまり出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価			外部評価		
			実施状況			実施状況		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期面談で本人の心配事、困っている事、要望などを聞き信頼関係を確保する為に努めている。					
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接時に家族の困っている事、要望等を伺い関係作りに努めケアプラン等に反映している。					
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が今望んでいる事、必要としている事を伺いその人に合った支援に努めている。					
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人の力量に合わせて、暮らしに協力していただき共に過ごしあう関係を築いている。					
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は本人の力量に合わせて、暮らしに協力していただき共に過ごしあう関係を築いている。					
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今まで大切にしてきた人間関係が途切れないように努めている。	知人の訪問や商店での買い物等のこれまでの関係を大切に支援に努めています。出来るだけ趣味の継続や読書が続けられるよう取り組んでいます。				
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等を通じ利用者同士が関わり合いを持てる様に努めている。					
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても家族の心配事、悩み等がある時は家族の相談、支援に努めている。					
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人の希望・要望に耳を傾け意向に沿うように努めている。	利用者の思いや暮らし方の意向は日常の会話の中で把握したり、利用契約時に家族やそれまでのケアマネージャーから情報を得て把握して実現できるように努めています。				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活や暮らし方を把握し支援の方向性に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、その日の過ごし方、バイタルチェック等により心身状態の確認、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人一人の担当職員が決まっておりますケアマネジャーとケアの在り方、課題を話し合い毎月の全体会議で再度検討し介護計画を作成している。	介護計画は短期目標期間ごとに見直しを行う事を基本とし、利用者、家族の意見を反映し作成しています。毎月の職員会議の中でケアについて話し合い職員全員が情報を共有できる様にしています。利用前のケアマネからこれまでの経過等の情報を得て、参考にしており適切な計画、実践出来る様取り組んでいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を生活記録に記入し、職員間で情報を共有し介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズには既存のサービスに捉われない柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	移動図書館を利用していたが現在対象者がいない為、中止している。コロナが落ち着き次第活用できる地域資源を利用していく		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人、家族の納得を得て月1回の往診 かかりつけ医師と事業所の関係を築きながら、医療を受けられるよう支援している。	利用者や家族が希望するかかりつけ医の往診が、2週に1回、月に1回と利用者それぞれの医師により行われています。歯科の往診や月2回の訪問看護師により利用者の健康管理を図り安心に繋げています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎月2回の訪問看護師に情報や気づきを伝え利用者が適切な受診、看護を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した際、病院関係者と情報交換や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族と話し合い事業所の出来る筆を説明しながら方針を共有し支援に取り組んでいる。	入居時に「重度化及び看取りに関する指針」「ターミナルケアの指針」により説明し同意を得ています。利用者や家族の意向を傾聴し思いを受け止め不安などを取り除き、看取り介護に取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時初期対応は身につけている。応急手当普及員在職		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火・防災訓練を実施し昼夜を問わず利用者が避難出来るように全職員が身につけている。社会福祉施設避難確保計画策定済	昼夜想定で避難訓練を実施しています。近隣の建物から出火した場合の具体的な避難の有無、自主訓練の判断を明記し、職員一人ひとりが災害への意識を常に持つよう努めています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、プライバシーを確保し、言葉かけや対応をしている。	自分の思いを伝えられる方が多く、その思いを尊重し叶えられるよう努めています。呼称はさん付けで呼んでいます。家族の了承を得、信頼関係を築くことで親しみを込めて愛称で呼ぶこともあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の思いを聞き、自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まりや都合を優先する事なく、一人一人のペースを大切に希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみが出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめる様に利用者と職員と一緒に準備や食事をしている。	利用者の好みを聞きながら調理専門職員が調理をし見守りも行っていきます。職員と一緒にファミリーレストランで食事をしたり、月1回の特別食ではお鍋やジンギスカンなどで楽しく食卓を囲んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量が1日を通じて確保出来る様に介護記録に落。とし、一人一人の状態を把握し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人本人の力に応じた口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握しトイレでの排泄や排泄自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、個々の状態に応じてさりげない誘導などを行い、排泄の自立に向けて支援しています。ポータブルトイレを使用し危険のないように配慮を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫や個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人体調やタイミングに合わせて個々に沿った支援をしている。	週2回を基本に利用者の希望や体調を考慮しながら入浴しています。要望に応じ清拭やシャワー浴、入浴の回数などにも対応し支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣やその時の状況に応じて、安眠や休息出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や容量について理解しており、服薬の支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴を活かした役割、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	通院時に外食をしたり近くのコンビニへ買い物などに出かけている。又本人の希望により散歩を実施している。	その日の天気や利用者の体調に合わせて、散歩やコンビニに買い物に出掛けたり、ドライブなどへ行き気分転換を図り利用者の楽しみとなるように支援しています。また、お盆の外泊や帰宅願望の強い方には職員と一緒に自宅に行き外食したり不安を払拭するよう取り組んでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人はお金を持つことの大切さは理解し管理している。近くのコンビニなどで自分の好きなおやつなどを買えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話のやり取りが出来る様に支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快や混乱を招く事がない様に居心地よく暮らせるようにしている。	居間は窓から暖かな日差しが差し込み、食卓テーブルやソファが置かれ行事ごとの飾り付けがされています。イベントでは季節を感じるスイカ割りなど行い楽しく過ごしていただくために気を配っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、利用者同士で過ごせる居場所を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら使い慣れたものを使用し、本人が居心地よく暮らせるように工夫している。	居室にはクローゼットの設置の部屋、釣り棚が備え付けられている部屋もあります。利用者の使い慣れた家具や調度品などが持ち込まれています。テレビを見たり新聞を読んだりとその人らしく生活できるように支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は安全に出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。		